

写 歴

()内の数字西暦年下2ケタ

昭和 23	(48)年	7月	静岡県清水市に生まれる。
昭和 52	(77)年	3月	北海道及び東北地方へ長期取材に於いて 「写真に日本の心を生かす」というテーマを得る。
昭和 57	(82)年	2月	栃木市民会館にて写真展。テーマを「ジャパネスク咫尺」 とし屏風・襖などに写真を生かす。
同	(82)年	4月	東京、日本青年館ギャラリーにて写真展。
同	(82)年	11月	アメリカ合衆国、ロスアンゼルスに於ける「ジャパンエキスポジション "82」 に出展、共通テーマは、「ジャパネスク」。
昭和 58	(83)年	9月	全日空の九州キャンペーン「ザ漫遊」のスチール部門を担当。
昭和 59	(84)年	1月	感光剤の開発と和紙(烏山程村紙)へのコーティングに成功。
同	(84)年	4月	栃木市文化会館にて作品展。印画紙としての素材を和紙に求める。
同	(84)年	9月	全日空の第二回九州キャンペーン「ザ漫遊」のスチール部門を担当。
昭和 60	(85)年	5月	宇都宮市内西武デパート並びに東武デパートにて作品展。
同	(85)年	7月	栃木市星野遺跡発掘に関する遺跡記念館の写真展示パネル作成。
同	(85)年	11月	(株)電通東京本社アドギャラリーにて作品展。テーマは「ジャパネスク フォト山水」。舞扇・掛け軸・ロールブラインドを新作として発表する。
昭和 61	(86)年	5月	宇都宮市内東武デパートにて和紙作品展。 中国北京故宫博物院(書家)李燕生氏の書とのジョイント作品を発表。
昭和 62	(87)年	2月	宇都宮市内西武百貨店にて“とちぎの景勝百選”作品展。 サブテーマは「フォト山水」。烏山和紙による飾り扇、掛軸、屏風などを出展。
昭和 63	(88)年	4月	写真集・栃木県指定“とちぎの景勝百選”を栃の葉書房(鹿沼)より出版。
同	(88)年	9月	写真集・栃木県指定“とちぎの特産百選”を栃の葉書房・同上より出版。
平成 3	(91)年	4月	栃木市・福田屋百貨店エクセレントギャラリーにて個展を開催。
平成 9	(97)年	2月	パソコンを導入・活動全般のIT化を開始。
平成 16	(04)年	8月	ホームページを開設
平成 16	(04)年	9月	ポラロイド社製フィルムレコーダーを導入、デジタルアートのネガ出力を 開始
平成 16	(04)年	10月	現在に至る。